

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月16日
事業名	消防団詰所維持管理事業	担当課・係名	消防総務課消防総務係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	7
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

<b>2. 事業の概要</b>					
目的 (何のために)	消防団詰所の適正な維持管理により、円滑な消防団活動を維持				
対象 (誰を・何を)	町内12箇所の消防団詰所				
内容	光熱水費執行管理、浄化槽の点検・清掃、第3分団詰所併設公衆便所の清掃委託及び詰所維持管理				
根拠法令・条例等					
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,431	1,964	1,209
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,431	1,964	1,209
	職員人数 (概算職員数)	人			0.27
	人件費計 (b)	千円			1,585
総事業費 (a)+(b)	千円	1,431	1,964	2,794	
事業費内訳 H 25 年度	需用費605千円、役務費55千円、委託料360千円、使用料及び賃借料179千円、原材料費10千円				

<b>3. 指標値の推移</b>					
各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 消防団詰所	箇所	12	12	12
	②				
活動指標 (活動量)	① 1個分団平均団員数	人	14	14	14
	②				
成果指標 (達成度等)	① 1個分団平均事業費	千円	119	164	101
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	消防団員の活動拠点として機能している。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	詰所は老朽化しており、適正に維持管理するためには、おおむね妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域防災活動拠点施設として、円滑な消防団活動を維持している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	主に実働兼務の職員による営繕により、おおむね効率的に実施している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	光熱水費等の節減について消防団員の協力を得た。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	<b>評価理由</b> 分団詰所の施設設備等が老朽化しており、緊急修繕が頻発している状況のため。施設の機能を維持するためには、予算配分の増資が必要であると思われる。

#### 5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
委託業務について、競争入札参加業者を増やすことにより競争力を一層高める。
② 平成26年度に着手する事項
修繕箇所の把握及び修繕実施計画の作成。
③ その他（課題、調整事項等）
緊急性の確認及び予算措置。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

各分団詰所の老朽化に伴う修繕や改修を計画的に実施することにより、緊急修繕が集中しないように取り組む。
----------------------------------------------------